| 学校番号 | 313 |
|---|---|

# 令和５年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅲ | 3 | 第３学年 | Power On<br>English Communication Ⅲ |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の中でも特に読み書きの力をつける授業です。逐語訳にとらわれず、文章の読み解きを理解できるようになりましょう。

・さまざまな題材に触れることで広くことばへの関心を高め、豊かな言語観、思考力、表現力を育みましょう。また、幅広い生き方や価値観・世界観に目を向け、社会の中で自らの力で考え表現する姿勢を培いましょう。

・「システム英単語」を用いて単語力を伸ばしていきます。日々の小テストの勉強をしましょう。

・ペアワークに積極的に参加し、自分の考えと他の人の考えを比較し、より洗練されたものにしましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| 絵や写真に関する内容について英語で説明することができる<br><br>各課の内容に関することを英語で伝えることができる | ペアワークへの参加態度<br><br>スピーチテスト | ターゲット文法を用いて英文を書くことができる<br><br>各課の内容について、自分の意見と理由を書くことができる。 | ワークシート<br><br>定期考査 | 絵や写真に関する内容についての説明を聞くことができる | ペアワーク | 新出単語を踏まえて、各課に関する概要をまとめることができる<br><br>各課に関する T/F 問題を解くことができる | ワークシート<br>定期考査 |

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>（３時間）<br><br>Lesson 2<br>（３時間）<br><br>Lesson 3<br>（３時間） | Emoji as a Universal "Language"<br>How Was the Olympic Symbol Created?<br>Zoo Dentists | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている | ・ペアでの言語活動を観察する |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・追加表現を適切に用いて、自分の意見と理由を書くこと、話すことができる | ・本文読解を通じて、意見とその理由の述べ方を理解し、自身に関して発する文を書く、話す | ・読んだことに基づき、内容について話す<br>・追加表現を適切に用いることができる | ・ペア・ワークでの言語活動を観察する<br>・ワークシートの文章で評価する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・本文内容を理解し、概要を捉えることができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・会話を続けるコツ３つを英語で言うことができる | ・本文中で用いられている単語や文法の意味や用法を確認する | ・定期考査で解答することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する |
| Lesson 4<br>（４時間）<br>Lesson 5<br>（４時間） | The First Four Minutes of an Encounter<br>A Promising Surfer from Japan | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・大畑選手が通信制高校に進んだ理由などについて英語で表現することができる | ・決まり文句を用いて、自分の意見を主張することができる | ・読んだことに基づき、内容について話すことができる | ・ペア・ワークの後、グループで発表する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・討論形式の文章を読み、それぞれの主張を整理することができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・コミュニケーションをさらに発展させるにはどうすればよいか、などについて、討論ができる | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する | ・ペアワーク・グループワークにおいて自分の意見を主張することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 6<br>(4 時間)<br><br>Lesson 7<br>(4 時間) | Where Does Halloween Come from?<br>A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている | ・ペアでの言語活動を観察する |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・形式主語を使う表現を用いて、物事を話したり、書いたりすることができる | ・本文読解を通じて形式主語を使う表現を理解し、書いたり、話したりする | ・読んだことに基づき、内容について話す<br>・形式主語を適切に用いることができる | ・ペア・ワークでの言語活動を観察する<br>・ワークシートの文章で評価する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・形式主語で書かれた文章を読み、それぞれの意味を整理することができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・内容を整理して、要約することができる | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する | ・本単元で学ぶ言語材料を使って事実を整理することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する |
| Lesson 8<br>(4 時間)<br><br>Lesson 9<br>(4 時間) | A Nature Photographer in Alaska<br>The History of English Tea | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている | ・ペアでの言語活動を観察する |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・因果関係を用いて、説得力のある説明をすることができる | ・本文読解を通じて因果関係表現を理解し、理由をつけて物事を説明することができる | ・読んだことに基づき、内容について話す<br>・因果関係を適切に用いることができる | ・ペア・ワークでの言語活動を観察する<br>・ワークシートの文章で評価する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・因果関係で書かれた文章を読み、それぞれの主張を整理することができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・お茶の歴史について理解を深め、英語で発表することができる | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する | ・本単元で学ぶ言語材料を使って、物事を説明することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 10<br>（４時間）<br>Lesson 11<br>（４時間） | Water and Living Things<br>The 10,000-Hour Rule | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・対比を用いて、物事を比較して意見を述べることができる | ・本文読解を通じて対比表現を理解し、理由をつけて物事を説明することができる | ・読んだことに基づき、内容について話す<br>・因果関係を適切に用いることができる | ・ペア・ワークでの言語活動を観察する<br>・ワークシートの文章で評価する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・対比で書かれた文章を読み、それぞれの主張を整理することができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・ラクダやカンガルーラットの特徴を理解する | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する | ・本単元で学ぶ言語材料を使って、物事を説明することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 12<br>（６時間） | A Conductor of the Underground Railroad | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をする。 | ・レッスンごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 | ・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話をしている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・本番で実力を発揮するために必要なことについて自分の考えを論理的に述べることができる | ・ペアで、ワークシートのメモに基づいて、自身の考えをより論理的にする | ・トピックについての説明を読んで、その内容を理解できる。<br>・読んだことに基づき、内容について話すことができる。 | ・ペア・ワークの後、全体に向けて口頭で発表をさせる。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・本番で実力を発揮するために必要なことについて書かれた本文を要約することができる<br>・単語を約 100 語暗記する | ・本文精読や発問により、学習内容を深めていく<br>・単語練習プリントやアプリを用いて反復学習を行う | ・本文板書プリントや要約プリントを埋めることができる<br>・単語小テストに解答することができる | ・本文板書プリントや要約文で観察する。<br>・単語練習プリント提出と小テストの点数、アプリの進捗状況で判断する |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・これまでのレッスンで学んだ表現を用いて意見を主張することができる | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する | ・本単元で学ぶ言語材料を使って、物事を説明することができる | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |